

基礎科学力の強化に関するタスクフォースの設置について

平成 28 年 11 月 18 日
文部科学大臣決定

1. 趣 旨

東京工業大学大隅良典栄誉教授のノーベル生理学・医学賞受賞決定を契機に、我が国の学術研究・基礎研究や若手研究者をめぐる課題等への対応が改めて求められていることを踏まえ、省内にタスクフォースを設置し、制度、仕組み等のシステムの改革を含めた基礎科学力の強化策について検討する。

2. 構成員

(座 長) 田野瀬大臣政務官
(座長代理) 研究振興局長
大臣官房審議官 (高等教育局担当)
大臣官房審議官 (研究振興局担当)
科学技術・学術政策局科学技術・学術総括官
高等教育局国立大学法人支援課長
高等教育局大学振興課大学改革推進室長
科学技術・学術政策局人材政策課長
研究振興局振興企画課長
研究振興局振興企画課学術企画室長
研究振興局基礎研究振興課長
研究振興局学術機関課長
研究振興局学術研究助成課長
その他必要に応じ座長が指名する者

3. 庶 務

タスクフォースの庶務は、関係局課の協力を得て、研究振興局振興企画課学術企画室において行う。

4. その他

前各号に掲げるもののほか、タスクフォースの運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

松野博一文部科学大臣記者会見録（平成 28 年 11 月 18 日）（抜粋）

（前略）

大臣）

4 点目が、基礎科学力の強化に関するタスクフォースの設置についてです。大隅良典先生のノーベル生理学・医学賞受賞決定を契機に、学術研究・基礎研究の重要性や、若手研究者の研究環境の整備等への関心が高まっています。科学技術・学術審議会においても、佐藤勝彦学術分科会長から、今回の受賞を機に声明が出されていると承知しています。

こうした状況を受け、文部科学省としても、改めて学術研究・基礎研究や、研究者支援の強化策等について検討を行い、具体的な対応策をとりまとめたいと考えています。このため、田野瀬大臣政務官を座長とする「基礎科学力の強化に関するタスクフォース」を省内に設置したので、お知らせします。

（中略）

記者）

冒頭にございました、田野瀬政務官のタスクフォースの件ですが、こちらはいつ頃までに、どういった結論を出すのかということと、具体的な施策を出すのか、あくまで施策の裏付けとなるような方針のようなものを出すのか、それはどのような感じでしょうか。

大臣）

日程感に関しましては、今月中に第 1 回目のタスクフォースを開催する予定であり、来年の 2 月を目途に一定の取りまとめを行いたいと考えています。本取りまとめを踏まえて、平成 30 年度の予算要求や研究環境の改善に取り組みたいと考えています。検討内容でございますが、主な検討内容としては、若手研究者のための研究費の安定的な確保・充実や、活躍促進、博士課程学生への支援、制度やルールの見直しを含む研究環境・評価の改善、研究力強化に向けた研究拠点の形成、社会全体で科学を文化として育むための方策等を考えています。具体的な方策の詳細に関しては、今後、タスクフォースにおいて検討を進めるということでございます。

（後略）